



年 組 名前

道新でワークシート

「消毒用エタノール」製造

小樽・田中酒造 医療機関に無料提供

【小樽】創業121年の老舗の田中酒造（小樽）は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、手指の消毒液の代わりとなるアルコール度数の高い酒（高濃度エタノール製品）の製造を開始する。500ミリ入りの酒瓶千本程度を11日以降に製造し、消毒液が不足する医療機関に無料で提供する。

梅酒などを造るために他社から仕入れている59・5%の高濃度醸造用アルコールを蒸留し、度数を70%にまで高める。高濃度エタノール製品は、まず小樽の医療機関に優先的に使ってもらい、いづれは一般消費者向けの販売も検討する。

醸造用アルコールは本来、酒造り以外に使えないが、国税庁が4月下旬、厚生労働省の通知を受け、高濃度エタノール製品に限り製造免許を緩和した。

同社は18年に醸造用アルコールを使った清酒の製造をやめ、純米酒に特化。北海道酒造組合（札幌、13社）によると、醸造用アルコールを製造・販売していない造り酒屋が高濃度エタノール製品を製造するのは道内で初めて。

同社の岡田栄造専務は「小さな造り酒屋で設備も人も限られているが、感染拡大防止の一助になれば」と話している。（平田康人）

2020年5月9日（土）朝刊 全道版 9ページ

- ①田中酒造は、北海道の何市にある酒造メーカーですか。
- ②新型コロナウイルス感染予防のために、どんなことを始めましたか。
- ③どのような施設に無料提供を始める予定ですか。